

法務局の地図 XML から SIMA 共通フォーマット

2016/12/26
有限会社ジオ・コーチ・システムズ
<http://www.geocoach.co.jp/>

目次

1. 機能	1
2. ダイアログ	1
3. 更新記録	4

1. 機能

法務局の地図 XML (法務省の地図 XML) から SIMA 共通フォーマットファイル(拡張子.sim)を作成します。

法務省の地図 XML のページ

http://www.moj.go.jp/MINJI/minji05_00171.html

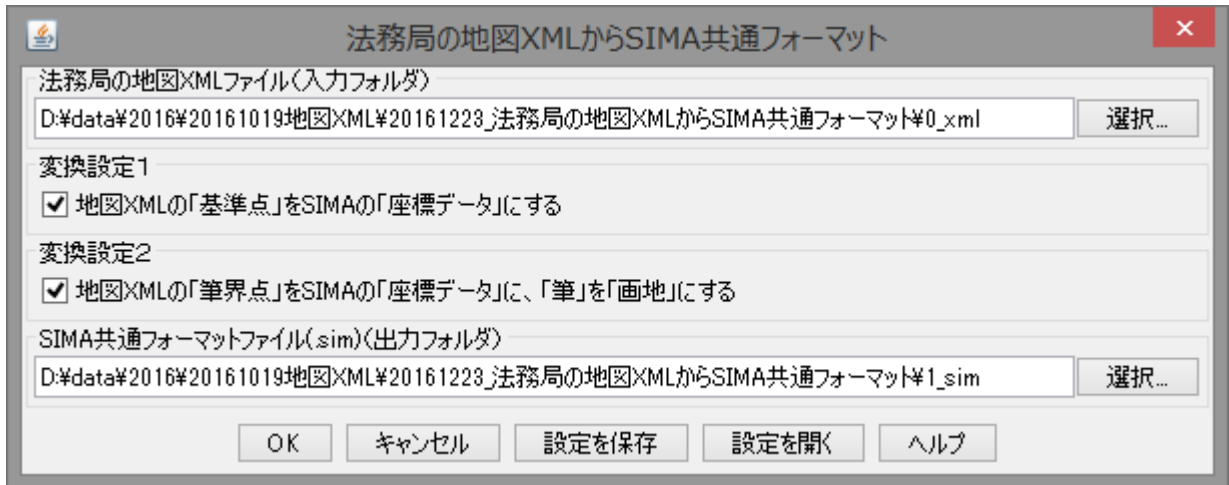
最初の 3 行が次のようになっている XML ファイルが対象です。

```
1 <?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>↓
2 <地図 xmlns="http://www.moj.go.jp/MINJI/tizuxml" xmlns:zmn="http://www.moj.go.jp/MINJI/tizuzumen" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xsi:schemaLocation="http://www.moj.go.jp/MINJI/tizuxml tizuxml.xsd">↓
3 <version>ver1.0</version>↓
```



ひとつの.xml ファイルからひとつの.sim ファイルを作成します。

2. ダイアログ



法務局の地図 XML ファイル (入力フォルダ)

法務局の地図 XML ファイルのフォルダを指定します。このフォルダ内の拡張子.xml のファイルを参照します。

地図 XML の「基準点」を SIMA の「座標データ」にする

XML に記録されている「基準点」を SIMA 共通フォーマットファイルの「座標データ」にします。

```
>> 0, 10, 20, 30, 40, 50, 60
815541 <主題属性>↓
815542 <基準点>↓
815543 <名称>0358TEST</名称>↓
815544 <形状 idref="P000000001"/>↓
815545 <基準点種別>数値図根点 (細部多角点) </基準点種別>↓
815546 <埋標区分>埋標 (その他) </埋標区分>↓
815547 </基準点>↓
815548 <基準点>↓
```

上図は、地図 XML の「基準点」です。

```
>> 0, 10, 20, 30, 40
1 | G00,01,,↓
2 | Z00,/ SIMA共通フォーマット Ver.01 /,↓
3 | A00,↓
4 | A01,1,0358TEST,54063.044,49091.709,,↓
```

上図は、地図 XML の「基準点」から変換した SIMA 共通フォーマットファイルです。

地図 XML の「名称」の文字列を、SIMA 共通フォーマットの「点名称」にしています。

地図 XML の「筆界点」を SIMA の「座標データ」に、「筆」を「画地」にする

XML に記録されている「筆界点」を SIMA 共通フォーマットファイルの「座標データ」にします。

```
822412 <筆界点>↓
822413 <点番名>8417282</点番名>↓
822414 <形状 idref="P000001146"/>↓
822415 </筆界点>↓
822416 <筆界点>↓
```

上図は、地図 XML の「筆界点」です。

```

0 10 20 30 40
1 G00,01,,↓
2 Z00,/ SIMA共通フォーマット Ver.01 /,↓
3 A00,↓
4 A01,1,8417282,51953.780,49307.603,,↓
5 A01,2,8417283,51966.413,49493.900,,↓
6 A01,3,8417284,52015.513,49439.044,,↓

```

上図は地図 XML の「筆界点」から変換した SIMA 共通フォーマットファイルです。
 地図 XML の「点番号」の文字列を、SIMA 共通フォーマットの「点名称」にしています。

```

> 1000504 </筆界線>↓
1000505 <筆 id="H000000001">↓
1000506 <大字コード>001</大字コード>↓
1000507 <丁目コード>000</丁目コード>↓
1000508 <小字コード>0000</小字コード>↓
1000509 <予備コード>00</予備コード>↓
1000510 <大字名>大字試験</大字名>↓
1000511 <地番>1581-1</地番>↓
1000512 <形状 idref="F000000001"/>↓
1000513 <精度区分>乙一</精度区分>↓
1000514 <座標値種別>図上測量</座標値種別>↓
1000515 </筆>↓

```

上図は地図 XML の「筆」です。

```

>> 19692 B01,1795,,↓
19693 D99,↓
19694 D00,1,1581-1,1,↓
19695 B01,1198,,↓
19696 B01,1204,,↓
19697 B01,1234,,↓
19698 B01,1240,,↓
19699 B01,1257,,↓
19700 B01,1277,,↓
19701 B01,1302,,↓
19702 B01,1393,,↓
19703 B01,1420,,↓
19704 B01,1527,,↓
19705 B01,1473,,↓
19706 B01,1304,,↓
19707 D99,↓
19708 D00,1,1584-18,1,↓

```

上図は、変換した SIMA 共通フォーマットファイルの「画地」部分です。

地図 XML の「地番」の「1581-1」が、SIMA 共通フォーマットファイルの「地番」として記録されています。

SIMA 共通フォーマットファイル(.sim)(出力フォルダ)

SIMA 共通フォーマットファイルを保存するフォルダを指定します。

地図 XML ファイルについて、リードし、SIMA 共通フォーマットファイルを作成します。

「基準点」と「筆界点と筆」の両方が指定された場合、SIMA 共通フォーマットファイルには、先に「基準点の座標」を記録します。

SIMA 共通フォーマットファイルでの「座標データ」の「点番号」、「画地」の「画地番号」は、それぞれ1からの連番になります。

表示項目と項目数		OK
<input checked="" type="radio"/> すべて	14	
<input type="radio"/> OK以外	14	
<input type="radio"/> OKのみ	0	

OKリストCSV保存 全削除

- (1)test.xml ひとつの「筆」に7個の線 地番=「道-6」 1/7
- (2)test.xml ひとつの「筆」に7個の線 地番=「道-6」 2/7
- (3)test.xml ひとつの「筆」に7個の線 地番=「道-6」 3/7
- (4)test.xml ひとつの「筆」に7個の線 地番=「道-6」 4/7
- (5)test.xml ひとつの「筆」に7個の線 地番=「道-6」 5/7
- (6)test.xml ひとつの「筆」に7個の線 地番=「道-6」 6/7
- (7)test.xml ひとつの「筆」に7個の線 地番=「道-6」 7/7

ガイド レポート チェックリスト1 チェックリスト2 確認リスト 断面

地図 XML に、ひとつの「筆」に複数の面(GM_Surface)が記録されているケースがあります。その場合、それぞれの面を同じ「地番」で SIMA 共通フォーマットファイルに保存します。また、上図のようにチェックリストにリストアップします。

3. 更新記録

2016/12/26

✓このメニューを作成